

アジア文学基礎研究

2 単位 2 年 (後期), 3 年 (後期)

田中 智行・准教授 / 人間文化学科

【授業目的】 李漁『閑情偶寄』を読む

【授業概要】 明末清初の人・李漁の『閑情偶寄』から読みやすい文章を選び、漢文訓読の形式で精読する。演劇・建築・家具・飲食・植物など多彩なテーマにわたる随筆集であり、受講者の興味に応じて読む文章を決めたい。担当者はとくに決めず、毎回の予習を求め、その場で指名する。

【キーワード】 文学, 漢文, 中国語, 文学

【関連科目】 『アジア思想基礎研究 (前期)』(0.5), 『アジア史基礎研究 (前期)』(0.5)

【履修上の注意】 外国語の古典文語文であるから、辞書を引かなければ読めない。なんとなく訓読してわかったつもりにならず、丁寧に漢和辞典を引くのみならず、論理的に文章を解釈する習慣を養ってほしい。担当者を割り振り演習形式をとるが、担当者以外も最低限の予習をしてこよう。

【到達目標】 漢文法の基礎を学び、漢和辞書を引きながら文章を正確に理解する力を身につける。

【授業計画】

1. ガイダンス
2. 漢文訓読の基礎 1
3. 漢文訓読の基礎 2
4. 明代文学史概説 1
5. 明代文学史概説 2
6. 講読 閑情偶寄 1
7. 講読 閑情偶寄 2
8. 講読 閑情偶寄 3
9. 講読 閑情偶寄 4
10. 講読 閑情偶寄 5
11. 講読 閑情偶寄 6
12. 講読 閑情偶寄 7
13. 講読 閑情偶寄 8
14. 講読 閑情偶寄 9
15. 講読 閑情偶寄 10
16. 補足と総括

【成績評価】 平常点とレポートにより総合的に評価する。

【再試験】 行わない

【参考書】

- ◇ 『全訳漢辞海』(三省堂)
- ◇ 加地伸行『漢文法基礎』講談社学術文庫
- ◇ 中村春作・市來津由彦・田尻祐一郎・前田勉 共編『「訓読」論』勉誠出版
- ◇ 古田島洋介『これならわかる返り点』新典社新書

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218355>

【連絡先】

⇒ 田中 (総合科学部 1 号館 2320 号, 088-656-7115, tomoyuki@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: いちおう水曜の13~14時とするが、随時質問に応じる。)